



お知らせ

同時資料提供

山口県政記者クラブ
山口県政記者会
山口県政滝町クラブ

しものせききた

一般国道191号 下関北バイパスが 平成27年3月28日に開通します

～日常生活の利便性向上と観光地のさらなる活性化～

【開通のお知らせ】

平成27年3月28日(土)に、一般国道191号「下関北バイパス」下関市^{しおいりちょう}汐入町から安岡駅前二丁目間の延長^{やすおかえきまえ}5.8Kmが4車線で全線開通することになりましたのでお知らせします。

なお、開通式および通行可能時間については、詳細が決まり次第あらためてお知らせします。

【全線開通により期待される整備効果】

今回の開通により、交通の流れがスムーズになり、新たに住宅地、大型店舗、医療施設が立地し、日常生活の利便性が向上すると共に、観光地へのアクセス向上により地域経済の好循環が期待されます。

①地域経済や交流の活性化が期待されます。

- ・医療施設や商業施設の立地により日常生活の利便性が向上し、**地域経済の活性化**や**観光地へのアクセス向上**により**交流の活性化**が期待されます。

②移動にかかる「所要時間」の短縮により日常生活の利便性が向上します。

- ・国道191号の交通がバイパスへ転換することで、**渋滞の緩和**や**交通事故の減少**が期待されます。

問い合わせ先

○国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所

副所長	平山和弘	(内線205)
(担当) 計画課長	藤原功	(内線261)
電話番号	(0835)22-1819	

山口河川国道事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>

事業概要

- ・一般国道191号下関北バイパスは、交通渋滞の緩和や交通安全の確保等を目的とした延長6.8kmの道路です。
- ・これまで延長2.1km(現道拡幅・バイパス区間(暫定2車線))が開通しており、この度、残る区間(延長5.8km)が平成27年3月28日に開通します。これにより、下関市筋川町～同市安岡駅前二丁目が全線開通します。



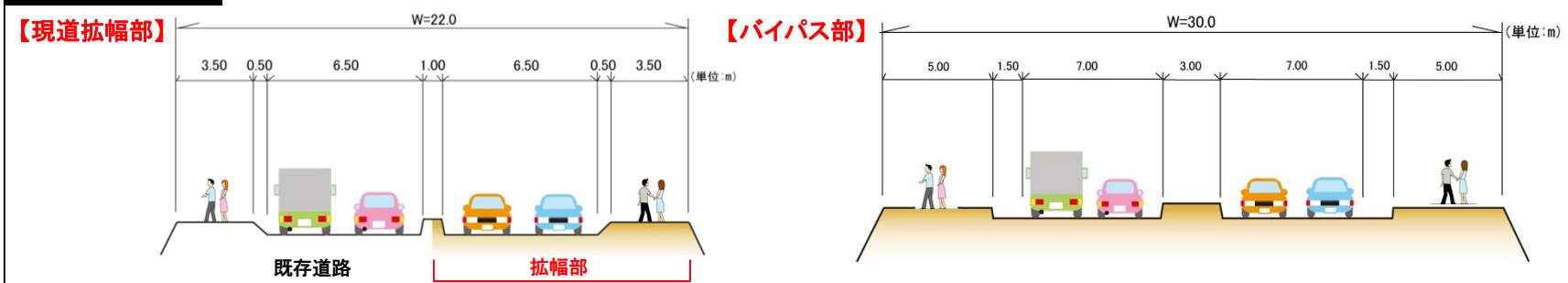
計画概要

起 終 点	(起点) 下関市筋川町 (終点) 下関市安岡駅前二丁目
計 画 延 長	6.8km
車 線 数	4車線

事業経緯

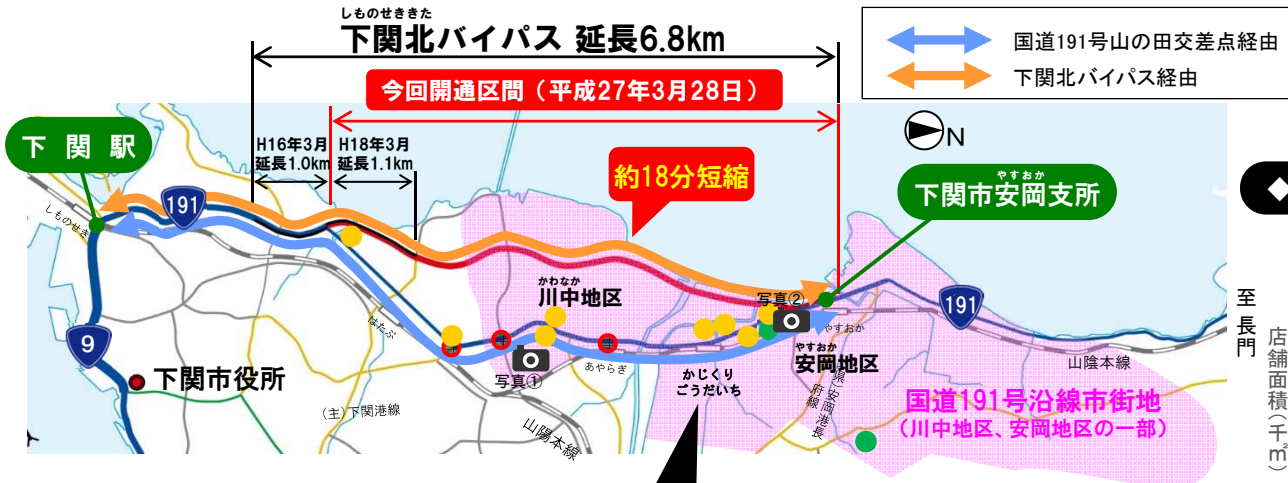
平成2年度	都市計画決定(平成2年12月) 事業着手
平成15年度	筋川町～汐入町4車線開通 (現道拡幅部 延長1.0km)
平成17年度	汐入町～武久町2車線開通 (バイパス部 延長1.1km)

標準断面図



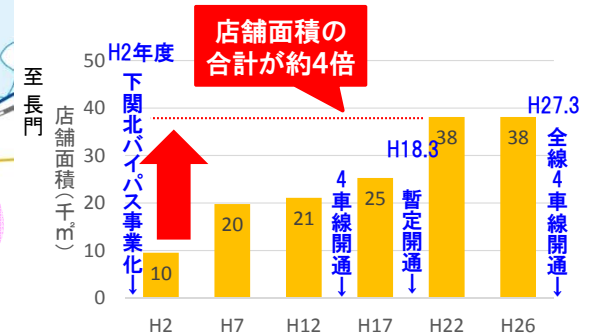
日常生活の利便性が向上し、地域経済の活性化が期待されます

- ・下関北バイパスの整備と共に、国道191号沿線には多くの大型店舗や医療機関が新たに立地し、沿線世帯数も年々増加しています。
- ・下関北バイパスの整備により、日常生活における利便性の向上や地域経済の活性化が期待されます。



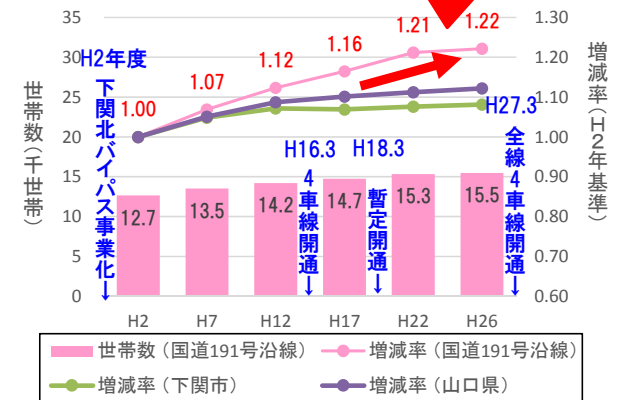
資料/大型店舗: 全国大型小売店総覧2015
医療機関: 医療施設HP

◆店舗面積の推移(大型店舗)



※豊浦町内の2店舗を含む
資料/全国大型小売店総覧2015

◆世帯数の推移



※国道191号沿線にあたる川中地区、安岡地区の一部を集計
資料/国道191号沿線: 下関市住民基本台帳人口
山口県、下関市; 国勢調査、人口移動統計調査



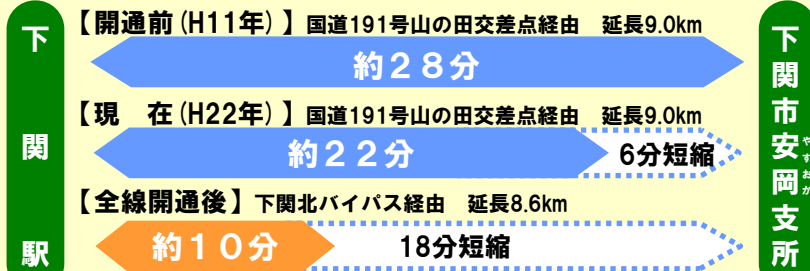
H21年3月に開業した大型店舗【写真①】



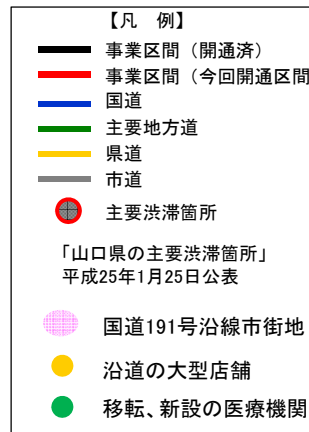
H18年11月に開業した大型店舗【写真②】

H20年3月の
JR新設駅

◇所要時間の短縮効果



開通前: H11センサス混雑時旅行速度
現在: H22道路交通センサス混雑時旅行速度
全線開通後: H22道路交通センサス混雑時旅行速度(下関北バイパスは60km/h)
※安岡支所は安岡駅前交差点を、下関駅は下関駅西口交差点を拠点に設定



観光地へのアクセス向上により交流の活性化が期待されます

- ・下関市北部の国道191号沿線には角島や川棚温泉など自然あふれる観光地が数多くあり、九州方面からも多くの観光客が訪れていますが、アクセス道路となる事業区間周辺では観光シーズンを中心に渋滞が発生しています。
- ・下関北バイパスの整備により九州方面から観光地へのアクセスが向上することで、さらなる交流の活性化が期待されます。

◆国道191号沿線の観光資源

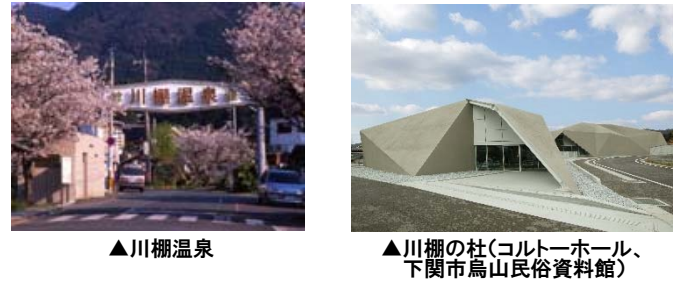
つしま 角島 年間観光入込客数 (H24) 約18万人/年
(角島灯台公園)



▲角島大橋 ▲映画「四日間の奇跡」ロケセット



かわたな 川棚温泉 年間観光入込客数 (H24) 約28万人/年



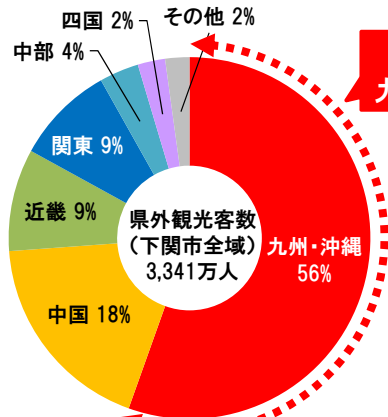
◆観光シーズンの渋滞状況



観光シーズンの国道191号の渋滞【写真①】

観光シーズンに下関市街方面へ延びる渋滞

◆下関市への発地別の県外観光客数



約6割は九州方面から

資料/山口県観光動態調査結果 (H24年値)

資料/下関市海水浴情報、山口県観光動態調査結果 (H24年値)

◇所要時間の短縮効果



現 在: H26年7~8月休日11時台平均旅行速度 (民間プローブデータ)
全線開通後: 下関北バイパスは60km/h、その他の道路はH26年7~8月休日11時台平均旅行速度 (民間プローブデータ)

朝の通勤時間帯にゆとりが生まれます

- ・下関北バイパスの開通により移動時間が短縮し、朝の通勤時間帯にゆとりが生まれます。
- ・路線バスのルートとなっている国道191号の混雑が緩和することで、バス通勤の方にとっても朝のゆとりが生まれます。



朝18分の時間にゆとりが生まれるとできること

- ・食後にコーヒーを飲んでから出勤
- ・新聞をじっくり読んでから出勤
- ・家事を一つ済ませてから出勤
- ・家族で顔を合わせて食事 など



◆時間短縮

下関北バイパスの開通により、下関市安岡支所から下関駅までの所要時間は**18分の短縮**（約28分→約10分）

資料/開通前：H11道路交通センサス、全線開通後：H22道路交通センサス混雑時旅行速度（下関北バイパスは 60km/h）

◆生まれるゆとり

年間の勤務日を242日（H26年度のお盆年末年始除く平日延べ日数）とした場合、通勤時間におけるマイカー利用者一人あたりの年間の短縮時間は

18分 × 242日 = 約4,356分 = 約72.6時間/人・年

国道191号混雑状況



あやらぎほんまち
▲ 下関市綾羅木本町周辺【写真①】

◆地域の声

■バス事業者 業務担当課長

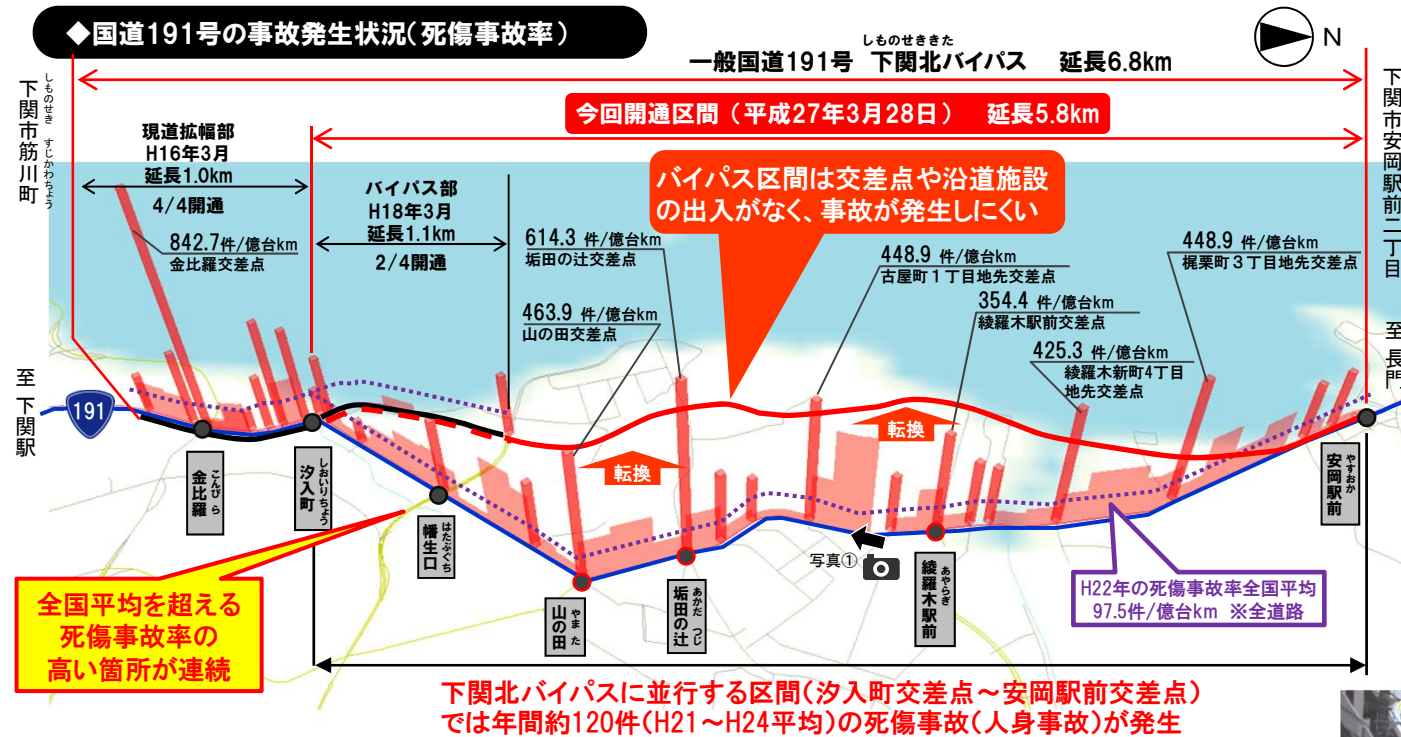
- ・下関北バイパスの開通により、特に渋滞する山の田～綾羅木駅前間がスムーズとなり、**バス運行の遅延が緩和することを期待**します。



（H27.1ヒアリング調査）

交通の転換により交通事故が削減し安全性が向上します

- ・**汐入町交差点～安岡駅前交差点**までの国道191号では死傷事故率が全国平均よりも高い区間が多数あり、年間平均約120件の死傷事故(人身事故)が発生しています。
- ・国道191号の主要交差点で事故が多発しており下関北バイパスの整備により交通が転換することで、死傷事故件数が削減し、快適な移動の実現が期待されます。



◆地域の声

■下関警察署

- ・国道191号は地域の主要な生活道路であり、交通量が多い上、沿道施設への出入も多くみられます。
- ・また、バス停付近では、路線バスを対向車線へはみ出して追い越す車両もみられます。



(H27.1ヒアリング調査)

【凡例】

- 死傷事故率(単路)
- 死傷事故率(交差点)
- 平均死傷事故率(H22全国平均)

※図中の高さは死傷事故率を示す。
※死傷事故率とは、走行台キロ(自動車の走行距離の総和)あたりの死傷事故発生件数を算出したものである。

資料/交通事故統合データベース(H21-H24)

【凡例】

- 事業区間(開通済)
- 事業区間(今回開通区間)
- 国道
- 主要地方道
- 県道
- 市道
- 主要渋滞箇所
- その他交差点

「山口県の主要渋滞箇所」平成25年1月25日公表



無理な右折車両

▲ 国道191号から沿道への右折状況